

# 令和8年度 香川短期大学 学校推薦型選抜前期

## 『小論文』問題用紙

令和7年11月15日

日本語が乱れているといわれている。「違う」を「ちげー」、「違うんじゃない？」を「違くない？」と言う。「難しい」は「ムズい」。なので「難しくない？」は「ムズくない？」となる。いわゆる若者言葉である。

以前取材した国語学者の金田一秀穂さんは「言葉の乱れなんて気にしなくてもいいんですよ」と話されていた。

「言葉は時代によって変化する生き物。仲間同士で使う言葉と、社会の中で使う言葉をきちんと使い分けられたらいいんです」と。

言葉が生き物だと思えるのは日進月歩でどんどん生まれてくるからだ。だから辞書も数年ごとに改訂される。広辞苑の第6版（2008年）から現在の第7版（2018年）になる時に約1万語が追加されたそうだ。

辞書といえば、最近新しい辞書が手元に加わった。きっかけは、とある大学教授の本にあった「暮らしに生きる言葉たちをすくい取る『三国』の手腕に敵う辞書は、ほかにない」という一文だった。「三国」とは知る人ぞ知る三省堂国語辞典の通称である。

普段、早急に言葉の意味を調べたい時はインターネットの辞書サービスを活用するが、これはあくまでも応急措置。やはり文化人の端くれとしては、辞書を引く人間でありたい。だから広辞苑を手の届くところに置いていた。ところが、「三国」を手にしてからは生き物としての言葉の「面白さ」を知った。（以下省略）

水谷もりひと 令和6年6月10日 日本講演新聞「社説」より抜粋

### 設問

上記の文章を読んで、「生き物としての言葉の面白さ」というテーマで小論文を作成しなさい。（800字以内）

受験番号	
------	--

# 令和8年度 香川短期大学 学校推薦型選抜後期

## 『小論文』問題用紙

令和7年12月14日

香川県のある自治体では、中学校における現在の部活動の形を2027年8月で終了し、翌9月からは「地域クラブ活動」として新たな形でスタートすることを、以下のように公表している。

### 【中学校部活動の地域展開について】

#### ・部活動を取り巻く現状

子どもたちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた部活動ですが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子どもたちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧されます。また、これまで教員が自身の時間を削り支えてきましたが、全国的に教員不足が深刻化する中で、部活動の仕組みは、徐々にではありますが限界に近づいています。

#### ・「新たなスポーツ環境」への転換

本市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来にわたって子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、生徒が、地域の方々とともに活動する地域クラブ活動への展開を行います。

#### ・「高松市地域クラブ活動基本方針」

これまでの実証事業や「高松市地域部活動検討委員会」での協議をふまえ、高松市が部活動の地域展開を通じて進めていく、新たな地域クラブ活動の目指す姿を明確にするとともに、その実現に向けて必要となる実施体制やスケジュールなどを方針にまとめました。

(高松市ホームページより抜粋)

## 設 問

上記の文章を読んで、「中学校における部活動の在り方」というテーマで自身の経験も盛り込んだ小論文を作成しなさい。(800字以内)

受験番号	
------	--

# 令和8年度 香川短期大学 一般選抜後期

## 『小論文』問題用紙

令和8年3月5日

ベネッセ教育総合研究所は、東京大学社会科学研究所と共同で実施している「子どもの生活と学びに関する親子調査」の結果から、子どもたちの読書行動の実態や読書行動に影響する要因について、以下のように分析している。

- ① 読書行動の実態・・・約半数が読書ゼロ。この7年間では減少の傾向
  - 1) 約半数の子どもの読書時間が0分  
小1から高3生の全体では、49.0%が平日に読書を「しない＝0分」と回答。性別では男子に、学校段階別では上の学年に上がるほど、0分の割合が多い。
  - 2) 読書時間は7年間で微減  
全体の読書時間(1日当たり)の平均は、2015年18.2分から2022年15.2分に減少。
- ② 家庭の影響・・・読み聞かせに効果あり。早期の読書の習慣づけや促しが重要
  - 1) 家庭的な背景によって読書時間が異なる  
蔵書数が多い家庭、本を読む大切さを伝えている保護者の子どもほど、読書時間が長い。
  - 2) 小学校入学前の読み聞かせの効果は長く継続  
入学前に読み聞かせを受けた子どもはその後の読書時間も長く、その効果は中学生まで残る。
  - 3) 早期の読書習慣の形成がその後にも残る  
早い段階で読書習慣を身につけている子どもは、その後も長い時間、読書をする傾向がある。
- ③ 読書の効果・・・読書をしている子どもは自分の能力に対する評価が高い
  - 1) 理解・思考・表現の能力に対する自己評価が高い  
読書時間が長い子どもは理解や思考、表現などの活動について「得意」と自己評価する傾向がある。
  - 2) 読書行動と自信や将来の目標などに関連がみられる  
読書をしない子どもは、ニュースへの関心や自信、将来の目標などの肯定率が低い  
(2023年10月19日 株式会社ベネッセホールディングス広報部公表資料より抜粋)

### 設 問

上記の文章を読んで、自身の経験と照らし合わせて、「私と読書」というテーマで自由に論じなさい。(800字以内)

受験番号	
------	--